

## 【支部総会報告】

## 兵庫支部

通信員 山西 純介(大学3回生)



2月16日(土)アリストンホテル神戸にて開催いたしました。今回の参加者は総勢38名でした。

榎本亮介氏(短18回生)の司会進行のもと、神澤匡数支部長(短7回生)の挨拶から始まり、座長の藤本隆平氏(大5回生)の進行にて学術講演が行われました。まず、メーカ講演としてキャノンメディカルシステムズの上安悠太氏より「見えなかつたものが見えてくる! Alphenix Hi-Def Detector」と題し、従来に比べ被ばくを低減し画質向上、ワークフローの最適化を実現した高精細検出器について解説していただきました。シーメンスヘルスケアの風川かおり氏より「トモシンセシスの原理とアーチファクトについて」と題してトモシンセシスによるマンモグラフィの撮影法と画像処理、乳腺組織と重なる病変をクリアに描出できる技術解説をしていただきました。

続けて、基礎講演「遭遇するかもしれない救急症例」として3名の方に講演していただきました。まず、西宮市立中央病院の西田高大氏(短13回生)より「1次・2次救急施設で遭遇する救急症例」と題して見落としてはいけない救急症例、補助読影の重要性をお話しいただきました。兵庫県災害医療センターの辻居賢一氏(短15回生)より「3次救急施設で遭遇する救急症例」と題して救急法等の講習、外傷初期ガイドラインについての解説、救急医療現場での診療放射線技師の役割などもお話しいただきました。神戸市立医療センター中央市民病院の村上智裕氏(大6回生)には「全国救命救急センター評価結果4年連続1位施設で遭遇する救急症例」と題し、経験した症例、救急において冷静に行動することの重要性などについてお話しいただきました。

総会は、榎本氏の司会のもと神澤支部長の挨拶から始まりました。玉田彰学友会会長(53回生)からもご挨拶いただき、6月8日(土)京都ホテルオーディオにて学友会総会・学友会創設90周年祝賀会の開催案内がありました。小山博就職課長より母校の近況報告をしていただきました。神澤支部長より活動報告、廣島桜氏(大3回生)より会計監査報告があり出席者の承認をいただきました。

17時より懇親会が行われました。神澤支部長より小林加奈氏(大8回生)の紹介をしていただきました。西谷源展学友会副会長(44回生)の乾杯で





始まり、池 和秀京都支部長(65回生)、新川 秀和大阪支部長(63回生)、西関 剛滋賀支部長(65回生)、協賛各社の方々からご挨拶をいただきました。最後に後藤正季氏(34回生)を筆頭に専門学校卒業の方々による恒例の校歌斎唱で盛り上がり、お開きとなりました。

最後になりましたが、参加していただいたご来賓の皆様、会員の皆様、協賛企業各社の皆様、ありがとうございました。多くの方に参加いただきたいと思っておりますので、参加されていない方をお誘いの上、次回もご参加お待ちしております。

以上

---

\* 通巻 231号 2019年4月10日発行(H31-No.1)より